

## 平成29年度農林水産省国産花きイノベーション事業 ～花き日持ち性向上対策実証事業 報告会～

平成29年度農林水産省国産花きイノベーション事業の花き日持ち性向上対策実証事業 報告会を3月6日（火）に法政大学で開催しました。農林水産省の施設園芸振興室 課長補佐 橋本 泰治 氏の来賓の挨拶に始まり、今年度の事業の報告を各部門ごとに報告しました。

### 事業報告Ⅰ「試験研究結果について」農研機構 野菜花き研究部門 花き研究監 市村 一雄 氏

今年度は、山形から福岡まで11の研究機関が参加。対象品目としては、切花だけでなく、花壇苗や鉢物でも試験を行った。鉢物の研究成果として千葉県（カーネーション）と奈良県（シクラメン）と島根県（アジサイ）の研究結果を紹介。切花については、農研機構、山形、千葉、新潟、長野など8機関で実施した。今年度の目的は、品質管理技術が開発されていない多数の品目における、エチレン感受性の評価と品質管理技術開発。メジャーな品目で、既に技術があるものについては、最新の品種への適用など技術の改善を目指した。今年度は、80品目のマニュアル作りを目標し報告会では、それぞれの研究成果を発表した。

### 事業報告Ⅱ「低温貯蔵試験・予冷試験結果など実証研究報告」MPSジャパン株式会社松島 義幸 氏

貯蔵および予冷試験の結果と、保鮮パック、エチレン吸収剤の効果について報告。低温貯蔵実験では切花7品目（キク、カーネーション、トルコ、カスミソウなど）で、温度帯は0.5℃、2℃、8℃、貯蔵期間は貯蔵なし（0日）、1週間、2週間、3週間。福岡の三和陸運の貯蔵庫と、福岡花市場の日持ち試験室で試験を実施した。予冷試験では、差圧通風予冷による品温等の変化を調べる目的で、2017年9月にクラシックの成田の設備で行った。MA包装（Modified Atmosphere Packaging）実験では、複数の資材を使い、日持ちを調査した。これらの試験結果は製本して報告書にする。ウェブでも公開する予定である。

### 事業報告Ⅲ「日持ち保証販売にトライ！」～全国日持ち保証販売啓発セミナーから見た花店の未来予想図！

株式会社花佳（フルロン花佳） 代表取締役 薄木 健友 氏

全国8か所で開催した「日持ち保証販売啓発セミナー」の報告。セミナーは、8月から11月にかけて、札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、高松、福岡、広島計8か所で開催し、延べ375名が参加した。セミナーでは、①お客様に選ばれる花店になろう②日持ち性向上対策事業：データの蓄積③花のケア、管理（切花）④日持ち保証販売⑤灰色かび病（ボトリチス）対策など、これまでの試験データを踏まえ日持ち向上のテクニックなど伝えた。また、参加者よりアンケートを取り、質問にも回答した。

### 事例紹介「日持ち保証販売の取組みと成果について」～Hibiya-Kadan Styleの日持ち保証販売の取組み 株式会社日比谷花壇 リテール事業統括部ショップ事業部部长 大瀧 久美子 氏

Hibiya-Kadan Styleの日持ち保証販売の取組みと成果を紹介。2016年の11月に、小売や品質管理部門のスタッフでチームを作りそこから販売やスタッフ教育、流通、品質管理など、担当ごとにチームを作ったなど日持ち保証販売導入の経緯やルールを紹介。認知、リピーター拡大とスタッフ教育という3つの課題はクリアしてないとの事。日持ち保証販売をきっかけに、もっとたくさんのお客様に、花を身近に感じていただきたいと述べた。